

でどうぞ」と呼び掛けるようにしています。3年生や4年生の保護者で何度か足を運んでいる方は、地区教育懇談会の機会を上手に使って、さまざまな相談をしています。初めて参加される方は何をどう聞いたらいいかわからないという人もいますから、そのような方には積極的にこちらから働きかけていきたいです。

山本正美教育後援会副会長（以下、山本）

機会だという声が多く、うれしい限りです。私は子どもと同居していますが、地方から浦安に子どもを出している親の気持ち、地区教育懇談会に参加すると感じられ、



高野敬三 外国語学部長

野先生もおっしゃっていましたが、まだ参加したことがない保護者への声掛けを工夫していきたいです。

特色を生かし、より就職など 将来につながる学部でありたい

渡邊 それでは、それぞれの学部の特色についてお話をうかがえますか？

明海大にしかない 学部 まず『宅建』を取得し、 次なる資格を目指す ——不動産学部

中城 不動産学部は、何といても日本全国にある780の4年制大学の中で、明海大学にしかない学部であること。宅地建物取引士の資格を1年生のうち、遅くとも2年生までには取得し、その基礎力をもとに3年生、4年生で次なる資格を目指すような環境を整えています。今の4年生は2015年入学で、宅建

の合格率は70・7%。この資格は、合格率15%程度の難しい国家資格ですから、それに7割を超える学生が合格できているのは徐々に学部内での仕組みが功を奏してきたといえるでしょう。

語学だけでなく グローバル・ スタディーズ専攻を 設立 ——外国語学部

高野 外国語学部には3つの学科があり、それぞれに教育目標があります。まずはそれが明海大学の他の学部とは異なる点です。また、外国語の能力だけでなく、文化・社会・経済・国際教養や

数字に強く、国際的 視点を持ち、 多くの人と触れ合い 人間的な成長を ——経済学部

下田 経済学部は他の大学にもある学部ですが、正直、特色を出にくいのですが、特色を出



山本正美 教育後援会副会長

山本 経済学部は他の大学にもある学部ですが、正直、特色を出にくいのですが、特色を出

山本 経済学部は他の大学にもある学部ですが、正直、特色を出



中城康彦 不動産学部長

すために、現在の次の3つのことに取り組んでいます。1つは、数字とパソコンに強い学生を育成すること。以前学生に、「卒業後、就職すると、どれくらい月給がもらえるんですか？」なんて聞かれたことがあって。そのくらい、お金に関する感覚がまだ乏しい学生が多いんです。数字の感覚がないと、ビジネスの世界では通用しません。統計学、数学、情報処理などの授業を増やし、数字に強い学生を育てることに力を入れていきます。もう一つは国際的な視点を身につけること。グローバルな感覚を身につけてほしい。海外にも積極的に出向く機会をつくって、昨年の春にはニュージーランドへ留学した学生もいます。3つ目は、浦安の地域との交流。浦安市は、市民活動が盛んな地域で、意識の高い人が多い。市の青年会議所などとも連携して、ボランティア活動を行うなど取り組みを進めています。学生同士だけの世界ではなく、ボランティア活動などを通していろいろな年代の人と触れ合って、人間的に成長してほしいと考えています。

内苑 ホスピタリティ・ツーリズム学部は、第一に実学を中心に教育をしているのが特色です。毎年、時代にあつたものを取り入れながら、さまざまな改革をして教育方針をややり方を変えています。また、インターンシップが盛ん。当初は、企業を一軒一軒まわり、200社ほどに学生の受け入れをお願いしました。最初は企業から「学生を送り込んで、丸投げしている」と言われてしまったこと

実学中心の教育 時代に沿って改革し 教育方針を変え、 新しいものを 取り入れる ——ホスピタリティ・ ツーリズム学部

渡邊 続いて、保護者からのアンケートで特に聞きたいという声が多い就職について、各学部の状況を教えていただけますか？

下田 経済学部の学生は、入学時にこれといった目標が定まっていらない人が多く、入学してから目標を決めようという人が大勢います。ですから、その分教育を用意して、その手助けをしています。働くとは何か、社会に貢献するとは何かという基本的なことから考えられるような仕組みです。1年次から就活を後押しするキャリアサポートセンターはもちろん、3年次からはゼミの時間に同窓会と連携して、就職支援をしています。学生のなかには、就職が決まったのに、まわりに黙っている子が少なくありません。

中城 不動産業界では、毎年3万人は定年退職していきまますから、その分新規雇用があるということ。不動産学部の学生に限ると、不動産の分野で170倍の求人がある計算になるのです。ある意味、恵まれた状況にあるといえるでしょう。現在は、建築材料・住宅設備機器業界最大の株式会社LIXILグループと連携して、加盟会社への就職の面で、提携を始めました。グループ自体は大きいのですが、加盟会社となると就職の募集を大々的にできないところ

もあるのですが、学生を紹介し、就活に出遅れた学生も救い上げることができまますし、企業にとっても、学生にとってもメリットのある産学連携です。経団連の示す就活のスケジュールが変わることが決まり、大学も企業側も混乱しています。企業は、『企業体験』という名のインターンシップや、『ワンディセミナー』を実施して、それを選考の一つの材料にしています。それらが就活の前哨戦になっていて、参加していない学生は土俵にあ

がれない状況も発生し、授業へ出ずにワンディセミナーに参加する学生も出てきて、勉学と就活の両立ができない状況も生まれています。大学側としては、それにどう対応していくかが課題です。また、LIXILグループ以外にも就職の提携をしようという話を企業からもらっていますので、企業と学生のマッチングをどうしていくか、検討していきたいです。

高野 本学のスキームとして、内苑先生がホスピタリティ・ツーリズム学部長とセンター長を兼務しているキャリアサポートセンターがありますから、そこへ学生をうまく誘導していかねければならないと考えています。2年次から学年ごとに就活に向けてのメニューが用意されているので、そこで学生にしっかりと学んでもらうことが大切です。私は東京都の教育委員会にもいましたので、わかるのですが、高校生の就職については厳しく国で日程が決まっています、それを破ると企業に是正指導が入ります。しかし、大学生の就職の場合は、やり方は企業それぞれに



渡邊 香 教育後援会副会長

もありましたが、反省を生かして、24時間サポート

トをすることに。企業や学生から夜中に連絡がきたこともあります。教員一同、学生のために頑張っています。最近海外へ行きたいという学生も多く、ハワイへのインターンシップなども行っています。TOEICで高得点をとっていても、現地に行つて話すことができないことを実感する学生が多く、そこで挫折

して学ぶ意識が高まることも。2016年からは、コースを新設して、英語で中国語を学んだり、英語で経営について学ぶ授業もあります。今まで日本語でしか学べなかったけれど、英語で学べる学部ということで、海外の学生からの注目度も上がっているのが現状です。

がれない状況も発生し、授業へ出ずにワンディセミナーに参加する学生も出てきて、勉学と就活の両立ができない状況も生まれています。大学側としては、それにどう対応していくかが課題です。また、LIXILグループ以外にも就職の提携をしようという話を企業からもらっていますので、企業と学生のマッチングをどうしていくか、検討していきたいです。

就職率100%を目指して、 学生を後押し

委ねられていて、企業はありとあらゆる手で学生を青田買いしようとしていると感じます。もう少ししっかりしたルールをつくり、横一線でスタートするのが理想だと思います。

大学の教員としては、学生に就活にいきなさい、しっかりやいなさいという強いような指導では限界があります。義務教育の段階で働くことの意味、生きていく意義を学んでいないですから、どうして働くのか、何をすればいいのかわからない学生が多いのです。大学を出たら自身で働き、生きていかなければならないのはどうしてなのか、学生の職業観、勤労観の育成を大学に入る前から行うことも、日本の教育の課題だと考えます。



内苑 ホスピタリティ・ツーリズム学部は、就職率を高く意識しています。2008年度の最初の卒業生の就職率は99%で、2014年度にはあと1人で100%という状況になり、学生の背中を押し、初めて100%を突破しました。それから、5年連続で100%という状況です。授業の



内苑孝美 ホスピタリティ・ツーリズム学部長

一つとして、キャリアについて学ぶものを必修化しました。必修の授業です。これをとらないと進級できません。最初は「仕事をすると何?」というところからスタートします。3年生でキャリアデザインの授業があり、自分で将来をデザインする力を身につけます。また、3年生ではグループワーク、3年の終わりにマンツーマンのコーチをつけ、ゼミの先生とも情報交換をしながら就活に取り組みます。

就職率については、それぞれの学部での目標数値を立てていて、ホスピタリティ・ツーリズム学部は100%を達成しているためこれより上はありませんが、キャリアサポートセンターのセンタール長として、学部ごとに大変努力をして、学生

を支援し、数字が上がってきている状況だと言えます。大学側から仕掛けていかないとなかなか動かない学生もいますし、こちらが何もしなくても内定をとる学生もいて、本当に人それぞれ。最新の就活の情報収集をしっかりし、逐一学生に提供していくことを続けていきたいと思っています。

渡邊 私たちも大学と協力して、子どもたちのために少しでも良い環境を築いていきたいですね。先生方から、教育後援会に期待することはありますか?

下田 地方から学生を送りだしている保護者と密接にコミュニケーションをとって、一緒に学生を育てていくために、教育後援会は貴重な存在です。もっと保護者と直に会える機会が増えるといいですね。

中城 学生が真ん中にいて、教員がいて、保護者がいる。それは学生を育てる上で良い環境です。大学運営にあたり、教員でも職員でもない目線はとも大切。教員が学生を厳しく指導する分、保護者は学生と大学をつなぐ潤滑油になってほしいです。

高野 下田先生、中城先生の話に尽きます。昨年の教育後援会創立30周年式典はとても感動しました。今まで築いてきたさまざまな成果や、大学に對してきていていただいたことに感謝いたします。

内苑 日ごろから体育会などにもさまざまな支援をいただき、そのおかげで学生が活動できています。それが親御さんたちからの支援だということを知らない学生もいるかもしれません。教員が頑張って学生を育て、恩返ししたいと思っています。

戸澤 うれしいお言葉ありがとうございます。今後も頑張ります。

渡邊 最後に、今後、どのように学部を運営していきたいか、ひと言だけいただけますか?

内苑 私どもは2016年にメジャー制を導入して再スタートしているもので、それをしっかりやっていくことが第一です。TOEICが重視される時代が今後も続くのか見極め、状況によっては、進級要件を変えるなど対応し、より良い就職ができるようやっていきたいです。

下田 経済学部は、AIの発展が急速に進む時代の中、AIとの共存を目指す。AIに流されるのではなく、自分の力を十分に発揮できるような人材を育てられるよう、さまざまなカリキュラムを組んでいきたいです。

高野 これからの時代、語学の達人でなければい

けません。ただ、それだけではダメ。また、日本語を母語としない人たちに日本語支援をしたり、中国語の通訳、英語を駆使した外国人とのビジネスなど、コミュニケーションの達人になってほしい。

「外国語学部ならば明海大学」といわれるように努力したいと思っています。

中城 1992年に不動産学部が設立した当時は、高度経済成長の真っ只中。地価が急上昇している時代でした。そんな背景の1期目、バブルが崩壊し、地価が下がっていった2期目、そして、今は第3



〈出席者〉

〈後列右から〉
山本正美 教育後援会副会長
渡邊 香 教育後援会副会長
戸澤五月 教育後援会会長
福田清一 教育後援会副会長

〈前列右から〉
内苑孝美 ホスピタリティ・ツーリズム学部長
下田直樹 経済学部長
高野敬三 外国語学部長
中城康彦 不動産学部長

教育後援会が支援 — 課外活動

2018年度 学友会サマーキャンプ

メインテーマは「つながり」
9/5・6 —at 群馬県渋川市伊香保温泉「ホテル天坊」

サマーキャンプは、浦安キャンパス教育後援会と同窓会が後援、大学をよりよくするためのアイデアを学生と教職員と一緒に考えるとともに、親睦を深めることを目的に行われている。

■1日目一分科会と懇親会

5日の朝、約120名の参加者は浦安キャンパスに集合しバスで現地へ。
開会式で戸澤教育後援会会長は「多くの留学生も参加してくれています。考えが違って当たり前。立場の違いを超えて分かち合う機会にしてほしい」と挨拶した。
今年のメインテーマは「つながり」。「課外活動について」、「学年交流について」、「明海大学の魅力について」の3つの分科会に分かれ、さらにそこから班分けをして、学生と教職員、教育後援会役員、同窓会理事と一緒に話し合った。
「明海大学の魅力を伝えるにはどうしたらいいか」をテーマにした班では、学生から「学生が広報大使になって母校の高校へ向かい、現在の姿を伝えたい」「明海大学では1年生から就職指導があることを高校生にアピールしたい」との意見が。これに

対し教職員は、「交通費をどうするかなど課題はあるが、とてもいいアイデア」と話した。
その後の懇親会は和やかな雰囲気のなか行われた。

■2日目一分科会報告と観光

6日は、午前中は各分科会の報告会。「課外活動の活性化」については、情報や内容が分からないという意見に対し、情報を定期的に発信する団体を作ったかどうか、また、「学年交流について」は、料理や体育などのイベントの開催や、授業内で他学年と交流する機会を持つのはどうかなどの意見が。「明海大の魅力」については、SNSでの発信や、SNSの存在自体を周知する必要性が提言された。
午後はホテルを出発し、「こんにゃくパーク」、「ガトーフェスタハラダ」、「榛名神社」の3つの班に分かれて観光を楽しんだ。



分科会のひとコマ。明海大学の魅力をどうアピールするか、意見をまとめる

To + Uプロジェクト被災地復興支援活動

11/4 岩手県釜石市でのボランティア活動を報告

この活動は学友会のボランティア活動の一つで、学生と学生支援課で共催している。明海祭開催中の浦安キャンパスで活動報告会が開かれた。

■社会人になっても続けたい

2月に8名、8月には6名の学生有志が参加。釜石市での支援活動も回数を重ね、近年は2月の活動では雪かき、8月は震災後に復活した祭り「釜石よいさ」の警備や開催支援などを中心に行っている。
中尾稜さん（日本語学科4年）は毎年参加。「初めて来た時より街並みが整備された」と話す。まだ仮設住宅に住む人がある現状に心を痛める。復興支援金が終わりに近づいており「ここから復興の正念場。社会人になってもこの活動を続けていきたい」と話してくれた。
チャンドラワティ・ニコレッタさん（ホスピタリティ・ツーリズム学科3年）はインドネシア出身で雪を見るのは初めて。2月、慣れない雪かきをみんなで頑張ったのが印象に残っているという。インドネシアでは大きな津波の被害があったばかり。「日本は8年でここまで復興したが、インドネ

シアはもっと時間がかかると思う」と表情を曇らせたが、将来帰国した時は、日本の復興について母国に伝えたいと語った。

■広がる活動の輪

このボランティア活動を現地でコーディネートしている「三陸ひとつなぎ自然学校」の伊藤聡さんは、明海大生は仕事を手伝うだけでなく、大学生生活や一人暮らしの様子などを現地の高校生に直接伝える取り組みも行っている。そして、一人の高校生が、学生との会話からアメリカ留学を決意し、実現したという。また「復興は街の姿を取り戻すだけでなく、地元の若い人をどう育てるかも課題。いろいろな人と話し多様な生き方の選択をしてもらいたい。それが結果的に街を発展させるから。明海大のボランティアがそのきっかけの一つになっています」と話した。



パワーポイントを使って活動報告をする学生

～「保健医療学部口腔保健学科」開設に寄せて～



2019年4月に新たに開設する「保健医療学部口腔保健学科」。新学部の開設は2005年のホスピタリティ・ツーリズム学部以来、実に14年ぶりとなる。新学部開設の意義や、どのような学生を育成したいかなど、安井利一学長に伺った。

需要が増えている歯科衛生士

超高齢社会や健康志向などから近年、歯・口腔の治療や予防への関心が非常に高まっています。また、歯・口腔と全身の健康の因果関係も注目されるようになってきました。

たとえば高齢になると、食べ物をうまく飲み込めなかったり、誤嚥性肺炎にかかるケースが増えますが、誤嚥性肺炎は口内環境を良好にすることで予防が可能です。また、適切な口腔ケアで外科手術後の回復が早くなったり、入院日数の短縮につながることも分かっています。

歯科医師・歯科技工士とともに歯・口腔医療を支えるのが歯科衛生士ですが、現在その数は不足しており、2016年度の全国求人倍率は20.5倍にも上っています。医科・歯科連携も進み、需要は今後ますます増えることが予想され、人材育成は不可欠な状態です。

これまで歯科衛生士の業務は歯みがき指導など医師のアシスタントが主でしたが、これから求められるのは、予防処置・保健指導・診療補

口腔保健で社会に
貢献できる人材を育てる

助という高度な業務をしっかりと担える、「自分で患者を診る」歯科衛生士です。こうした歯科衛生士を育成するには、4年間の教育が必要だといえるでしょう。

4年制の学士課程と明海大学の強み

歯科衛生士養成の大部分は専門学校と短期大学が行っており、現在、東日本で4年制の課程を設置している大学は国公立の3校のみ。私立大学としては明海大学が初の設置となります。

明海大学の歯学部は2020年で開設から50年。学問的にも医療的にも、しっかりとしたベースが出来上がったと自負しています。このベースをもとに、歯学部とも連携しながら、未来に向けた歯科衛生士を育成したいと思っています。

優秀な教員と最先端の設備での学びはもちろんですが、明海大学の強みは、大学病院やPDIでの実習です。口腔外科や小児歯科、矯正歯科など歯科の専門的な現場に加え、内科や耳鼻咽喉科など医科・歯科連携の最前線の現場で学ぶことができるのは、歯科衛生士を目指す学生にとって非常に有意義なことです。

また、浦安市内の小学校や近隣の特養老人ホーム、市の健康センターなどとも連携し、地域保健や地域包括ケアという観点からも学んでいきます。数年後には市内の病院での実習も実現させたいと考えています。

他大学との交流という面では、海外との交流も活発に行いたいと思っています。歯科衛生士の教育に関してはアメリカがトップランナーですので、アメリカの大学とのコラボレーションを目指して現在、準備中です。

大学は現役の学生だけでなく、生涯研修の場でもあります。とりわけ日々進歩する医療においては研修が欠かせず、すでに歯学部では卒業後も研修できる仕組みを作っています。保健医療学部でも同様に取り組んでいきたいと考えています。

自ら考えることができる人材に

本大学の建学の精神は、「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指す」というもの。自分で課題を発見し、自ら考えて解決していく。また、独自の良いところ、得意なところを伸ばす。批判的・推論的な考え方ができるようになる。つまり、「自分を知る」ということが大切なのです。そのため大学はかつてのような「教えてもらう場」ではなく、「自分やグループで考える場」となっています。

また、保健医療学部では1年目の基礎学修をホスピタリティ・ツーリズム学部と一緒にを行い、違う分野や考え方にも触れる機会を設けることにしています。医療は人と関わる「サービス業」という面もあります。患者さんはさまざまな年齢や経験、考え方を持った人たちですから、医療従事者はさまざまな人の言葉や意見を聞くことができる人間でなければなりません。

保健医療学部の学生には、明海大学での学びや人との出会いを通じて視野を広げ、健康をどう作っていけるかを考えられる歯科衛生士になってほしいと思います。そして、口腔保健で社会に貢献するという誇りを持って、将来、活躍することを願っています。



中川仁（なかがわ ひとし）／1969年東京都生まれ。1993年明海大学外国語学部中国語学科卒業、1997年東呉大学日本語文学系碩士班畢業（文碩士）。2007年博士（応用言語学）明海大学。明海大学外国語学部教授、同大学院応用言語学研究科兼任。専門は東アジアの言語問題、中国語方言資料研究、日本語教育。

理論的に、自主的に。大学生らしいスポーツを通じた人間的成長を
明海大学体育会に女子バレーボール部を新設

現在、サッカー、ヨット、空手道、テニス、陸上競技の5つの団体が活動している明海大学体育会。そこに新たに加わるようになった女子バレーボール部について、そして大学でスポーツに励む意義について、体育会会長の中川仁先生に話を聞いた。

大学で学び、セカンド
キャリアを身につけ
ながらプレーする

2018年7月に明海大学は、2018/19シーズンからVリーグへ参入している、日本初のプロバレーボールチーム『ヴィクトリーナ姫路』と連携協定を結んだ。そして、2019年4月より明海大学女子バレーボール部を新設して、全日本代表女子前監督の眞鍋政義氏がその客員教授に就任。共にチーム強化をめざしていくことに。

この背景には、女性の活躍の場を増やしたいという大学の想いがあったという。「千葉県はバレーボールの競技人口が多いものの、高校から先の受け皿が少ないという現状があります。高校を卒業後は実業団へ行く道が一般的ですが、スポーツ選手の手は現役生活はどうしても短いもので、引退した後の進路に迷う人が多いのです」と中川先生。

大学で学び、教員免許取得をめざし、現役引退後のセカンドキャリアを明確に描きながらバレーボールに打ち込み、将来的に教師や指導者の道へ。そのようなキャリアプランを持つてスポーツに励むことができる環境を明海大学ならばつくり出すことができる。

「二度就職しても、結婚や出産で退社してしまふとなかなか同じようなポジションでの復帰が難しい。でも、

教員免許や日本語教師の免許を持っていると、とても有利です」。実業団を引退した後でも、大学に入り直して指導者をめざす道も想定しているという。

そのような想いをもとに新たな体育会の部活動を新設しようと考えていた時、現在、姉妹校の朝日大学に職員として所属している元全日本バレーボール選手の泉川正幸氏などとのつながりで、ヴィクトリーナ姫路との連携協定の話が進んだ。

「精神論だけでない、頭脳を駆使したプレーとチーム運営を」

「高校までは精神論を軸に指導者から指導されることも少なくありませんが、大学では理論的、科学的な観点から練習メニューを決めたり、トレーニングをしたりと根拠のある練習をしてほしい。また、指導者に頼るだけでなく、自分で考えてより効率の良い、効果の上がるトレーニングやチームの課題の解決に取り組んでほしいと思っています。大学はスポーツだけをやる場ではありません。文武両道というよりも、常に自分の将来を考えながら、頭を駆使してスポーツをし、論理的思考を身につけて、人間力を上げていくことが大学でスポーツをする意義

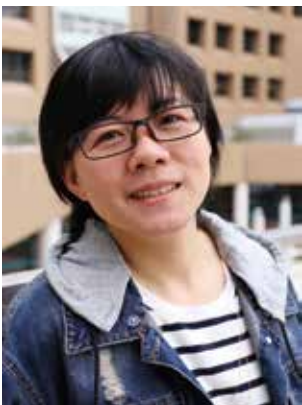
だと思っています」

「なかには、勉強の習慣がない学生もいるでしょう。でも、例えばスポーツをしてきたから体育の先生をめざす、という進路モデルだけではなく、大学時代に読書や勉強の習慣を身につけて、国語の教師や日本語教師をめざすモデルもあるんだということを示したい。それは新設するバレーボール部に限ったことではなく、すべての部活動の学生に言えることです。そのために、教員はしっかりと学生の勉学のサポートをしていきたいと思っています」

現在、県内外のバレーボール部の強豪校などに出身いて、部員確保などに奔走している最中とのこと。共栄学園高等学校のバレーボール部顧問として、インターハイや春高バレーなどでの優勝経験を持つ太田豊彦氏が、監督に就任することも決まっております。明海大学女子バレーボール部が華々しいスタートを切つて、どんどんと活躍の場を広げることを期待したい。



7月24日に行われた連携協力協定締結式



■南半球に
行ってみたかった

私は中国の出身で、日本に留学することを決めたのは、友人が明海大学に留学していたからです。友人から明海大学のことをいろいろ聞いているとき、オーストラリアへ語学研修に行った話を聞きました。私は南半球に行ったことがなかったので、友人が羨ましくて「明海大学に留学してオーストラリアへ行く」と決心しました。無事に明海大学に入学した

「もっと勉強しなくちゃ」という思いが増す

張 小璐さん(経済学科4年)
セントラルクイーンズランド大学(3週間)

留学体験者インタビュー

明海大学では、毎年100名以上の学生が海外に留学や研修に行く。大学や教育後援会によるサポート体制により、金銭面の負担が少なくなるのは親としてありがたい。大学時代の貴重な経験は、社会に出てからもきつと役に立つ。どんな制度を活用してほしい。

私は日本では、あまり日本語がうまくなかったとき、恥ずかしいけれど話さなければダメだと

後には「オーストラリア研修の申し込みはいつですか?」「どうしたら参加することが出来ますか?」と、何度も学事課に聞きに行ってしまう(笑)。

■留学に必要なのは、
勇気

3年生の夏休みに、セントラルクイーンズランド大学に3週間の語学研修に行きました。明海大学からは10人が参加。現地に着いた日の夜から一人でホストファミリーの家にお世話になりました。ホストファミリーの家は田舎で、周りには何も無い。でも自然が本当に豊かで景色も素晴らしいところでした。学校に行けば、大学の友人に会えるし、現地のコーディネーターも親切なので困ったことはありませんでした。唯一、苦労したのは食事です。中国とも日本とも

違う食事には慣れることができませんでした。現地コーディネーターはインド出身の女性でしたし、ブリスベンの街には中華料理屋がたくさんあって、中国語を耳にすることもあ

思い、勇気を出して日本語で話しかけるようにして、日本語を覚えました。英語も同じだと思い、ホストファミリーには積極的に英語で話すようにしました。何度も聞き返したりしましたが、仲良くなることができました。

■行ってみなくちゃ
分らない

日本では、「駅前留学」と書いてある英会話スクールがありますが、やはり本当の留学にはかなわないと思います。ホストファミリーと話していると「もっと英語を勉強しなくちゃ」とモチベーションがとても上がりました。また、その国の文化は行ってみなくては分からないことがたくさんあります。オーストラリアでは、思った以上にアジア人がたくさん生活していることを知りました。現地コーディネーターはインド出身の女性でしたし、ブリスベンの街には中華料理屋がたくさんあって、中国語を耳にすることもあ



Topics

元NHKアナウンサー 堀尾正明氏が 客員教授に就任

元NHKアナウンサーで、現在はフリーキャスターとして活躍している堀尾正明氏が、昨年6月、明海大学外国語学部の客員教授に就任した。特別講義やシンポジウムにおける講演などを担当する。

明海大学では、堀尾氏の実践的な経験を生かし、アナウンサーならではの「日本語の美しさ」や「言語で伝える重要性」を授業に取り入れ、学生たちの対話力、コミュニケーション能力の向上を図っていく。

手厚い留学支援制度を利用しよう!

費用が気になる留学だが、学ぶ意欲のある学生に対して明海大学は大学と教育後援会の支援が手厚い。チャンスを逃さず利用しよう。

(1) 海外留学制度

海外協定大学へ派遣留学生として選考され、留学した場合は、そこで修得した単位が卒業に必要な単位として認定される。協定校留学の場合は、選考のうえ、大学から奨学金または教育後援会から援助金が支給される。また、交換留学の場合は派遣先大学での授業料が免除される。

(2) 海外研修制度

長期休暇を利用した海外研修。留学先はアジア、アメリカ、ヨーロッパ、オセアニアに広がっており、研修費用の全額または一部を大学が負担する。プログラムによっては、単位認定を行うものもある。

① 明海大学学生奨学海外研修派遣規程に基づく研修制度

学業成績が優秀な学生を選考し、海外研修費用の全額を大学が負担して派遣する制度

② 明海大学浦安キャンパス派遣留学生奨学金規程に基づく研修制度

海外研修に要する費用の一部を大学が負担して派遣する制度。教育後援会からも援助金を支給。

2018年度 浦安キャンパス海外留学・研修派遣状況

外国語学部 66人	経済学部 19人
不動産学部 19人	ホスピタリティ・ツーリズム学部 11人

2018年度卒業予定者の主な内定先企業 (2018年11月30日現在)			
企業名	スタジオアリス 東京ベイヒルトン フルキャストホールディングス 東武トップツアーズ 日本ホテル アウトソーシング エイチ・アイ・エス 総合警備保障 リゾートトラスト 日本郵便 ホテルオークラ東京ベイ	明和地所	共立メンテナンス 東栄住宅 パナソニックリフォーム 日神不動産 スターツコーポレーション 近鉄不動産 ジェイアール東海不動産 レオパレス21
サービス	建設・不動産 大成建設ハウジング 東急住宅リース MDI 三井不動産リアルティ千葉 三井住友トラスト不動産 三菱UFJ不動産販売 ハウスドゥ ハウスコム 積和不動産関東 東急リバブル みずほ不動産販売 飯田産業 日本ハウズイング FJネクスト 住友不動産販売	金融	銚子信用金庫 千葉興業銀行 富国生命保険相互会社 明治安田生命保険相互会社
IMS (イムス) グループ		輸送	ANA成田エアポートサービス 京阪電気鉄道 ANAエアポートサービス 日本交通 はとバス 日水物流 全日本空輸 日本航空
JCBトラベル		メーカー	ネグロス電工 アルビオン
読売旅行		商社	トヨタ部品千葉共販 ザ・ギンザ トヨタ部品東京共販
セレクトリックス			
ノバレーゼ			
長谷川トラストグループ			
森トラスト・ホテルズ&リゾーツ			
日拓リアルエステート			
東急セキュリティ			
ジェイ・エス・エス			
ユニマツプレシャス			
JALSカイ			
映像センター			
ザ・フォウルビ			
ポジティブドリームパーソンズ			
アラマークユニフォームサービスジャパン			
森ビルホスピタリティコーポレーション			
全日警			
アクティオ			
UTグループ			
TBCグループ			
セノン			
パレスホテル			
帝国ホテル			
ポラス			

エキップ	マースエンジニアリング TDMモバイル No. 1 トシン・グループ イオンフォレスト 高瀬物産 サマンサタバサジャパンリミテッド アルメックス リコージャパン コネクシオ IDOM 渡辺パイプ 資生堂ジャパン
流通	ヴァリック プリモ・ジャパン ロクシタンジャポン コーチ・ジャパン合同会社 サントリービバレッジサービス ストライプインターナショナル メガネトップ 千葉日産自動車 シャノール エー・ピーカンパニー 東和フードサービス 日本レストランエンタプライズ 銀座ルノアール ジェイアール東海パッセンジャーズ ベルパーク 京都きもの友禅

A s - me エステール	ビジョン キタムラ ベイシア カインズ サミット コックス ザラ・ジャパン 三越伊勢丹 スギ薬局 イトーヨーカ堂 青山商事 高島屋 情報通信 テクバン デジタル・インフォメーション・テクノロジー システムエグゼ ジャステック ヤフー 楽天 公務員 江戸川区役所 芝山町役場 成田市役所 防衛省 陸上自衛隊 静岡県警察本部 千葉県警察本部 警視庁
----------------	--

※各業種の企業名は順不同
※そのほか、多数の企業から内定あり



笑顔がこぼれるアットホームな雰囲気懇親会（北海道地区／札幌）

2018年度も北海道地区から地区教育懇談会はスタート。教育後援会の戸澤五月会長が「今日は親が目にするので、きかないお子さんの姿をぜひお聞きください」と挨拶。続いて安井利一学長は「今は学生が主体的に学び、課題を解決していくことが求められている」として、教員免許状取得に向けた学修相談スペース『METTS Commons』（メッツコモンズ）や、いつでも外国人の先生と話すことのできる語学学修スペース『MPPEC』（エムペック）などの学修環境を整えていることが紹介された。

9/1 北海道地区（札幌市）
会場 ホテルマイステイズ 札幌アスペン

次に、鈴木洋州学生支援課長は就職活動について、「近年は短期のインターンシップが活発で、3年生の夏にはある程度の自己アピールが求められる」「企業が見るのは、Plan・Do・Seeができる人かどうか。どんな工夫や努力をして何を果たしたかです。エピソードは特別な体験でなくていい。学生生活が大事」。また就活中の学生の保護者には「内定に結びつかず自己否定に陥ることも。心の支えになってもいい」と話し、1・2年の保護者には、3年次の「キャリアデザイン」の授業やキャリアサポートセンターの活用方法を紹介した。個別面談後の懇親会では、スタートから和やかな雰囲気。ピ

戸澤会長は、「教育後援会が、子どもを支えた親の思いと、頑張る学生たちが通う大学との懸け橋になれたら」と挨拶。続いて挨拶に立った高野敬三副学長は、新潟県十日町市の出身。「縁のある新潟の保護者の皆さんとお会いできるのを楽しみにしていました」と笑顔で話した後、今年度のトピックスを披露。不動産学部が宅建士の資格取得のためのガイドブック

9/22 北陸地区（新潟市）
会場 ラマダホテル新潟

デオレターの「いつもありがとう」の言葉に目を潤ませる母親や、「大学生活を見たことがなかったからありがたい」と話す父親も。最後に4年生の母親が挨拶、「ここが一番娘のやりたいことに特化している大学だった。この会に参加し、学生をわが子のように考えてくれる大学とわかったので、安心してお任せしている」と話した。

石川、富山、新潟からの参加もあった信州地区。福田清一教育後援会副会長の挨拶に続き、高野副学長の学内トピックスの紹介では、元バレーボール全日本女子代表監督の眞鍋政義さんがゼネラルマネージャーを務める『ヴィクトリーナ姫路』と連携協定を結び、女子バレーボール部を設立する予定があること、新たに東日本で初めて4年制で歯科衛生士を養成する保健医療学部口腔保健学科を浦安キャンパスに設立するなど、興味深い大学の動きが紹介された。

10/7 信州地区（長野市）
会場 ホテルJALシティ 長野

その後就職活動状況を鈴木課長が報告。続く個別面談では、単位の取り方や成績表の見方、留学について、就職先業界についてなど、直接教員に相談・質問。熱心な保護者に教員も真摯に応え、面談ルームは活気にあふれた。

長野市の美しい景色が一望できる16階のスカイレストランで行われた懇親会では、お酒や料理も進み、和気あいあいとした中、ざっくばらんに語らって交流を深めた。



（北陸地区／新潟）



（東北地区／盛岡）

戸澤会長の挨拶に続き、安井学長が「学生たちの夢を実現させてあげたい、またその人間力を高めたい」と思っています。そのためには皆さまの支えも必要です」と呼びかけた。その後安井学長は、最新の修学環境を整えていると大学の施設を紹介。学

10/13 東北地区（盛岡市）
会場 ホテルエース盛岡

生たちの健康増進にも尽力していると話した。鈴木課長からは大学の近況報告。2001年から取り組んでいる授業出欠席状況調査を詳しく説明。「本人と保護者と大学が一緒になって解決していこう」というサポート体制がある。いつでも学生支援課に相談を」と話した。

就活に関しては時間をかけて説明。現2年生について、経団連の指針が廃止されることを踏まえ、早めの情報収集や行動が大切。大学としても、今回の就活スケジュール変更についてもしっかりとサポートをしていく、と力強い言葉があった。

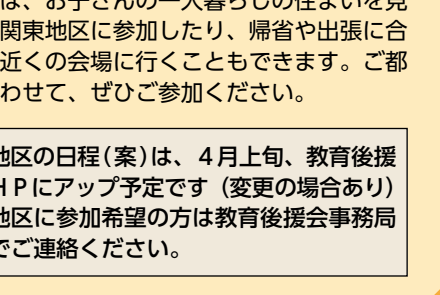
挨拶で安井学長は「教育だけで自分というものを作り上げるのは難しい。保護者の皆さんには、学生の背中を支えてほしい」と話した。

10/14 東北地区（郡山市）
会場 郡山ビューホテル

鈴木課長は就職活動について詳細に説明。インターンシップに申し込む時点で、しっかりと自己PRができていないと落とされる、というケースもある。また「内定を出した企業は、お子さんを認めてくれた企業。保護者の経験や価値観を押し付けず、心の支えとなっ

は計画的に進めていかないと」とアドバイスをいただきました。これは本人だけでなく親もですね。今日は親として意識改革をさせていただきました。（外国語学部3年）

個別面談では、保護者の疑問や不安が解消するよう丁寧に対応（沖縄地区／那覇）



（沖縄地区／那覇）

2018年度 地区教育懇談会の出席者数（人数）

学科	北海道	北陸	信州	東北（盛岡）	東北（郡山）	中国（四国）	九州	近畿・北陸	東海	沖縄	合計
日本語	0	0	0	7	4	0	1	0	1	1	14
英米語	1	9	3	6	8	0	2	6	4	0	39
中国語	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	5
経済	0	12	4	7	5	2	2	2	7	1	42
不動産	4	1	6	7	4	4	6	1	6	4	43
ホスピタリティ・ツーリズム	5	11	3	5	5	1	5	4	22	7	68
合計	10	34	16	33	26	7	17	13	42	13	211

調べていて知ったのが明海大学。入学してから、そのカリキュラムの充実に驚き、地方でもこの会を開いてくださり、とても感謝しています。（ホスピタリティ・ツーリズム学科2年）
★テレビで不動産学部のことを知り、「ここなら父の不動産事業を伸ばす勉強ができる」という息子の言葉。九州から遠く離れた明海大への進学を決めました。懇談会では離れて暮らす子どもの様子や、大学のことを知ることができました。（不動産学科4年）

<近畿・北陸地区>

★進級要件になっているTOEICの壁にぶつかって、落ち込んでいるようなのでそのアドバイスをもらえました。（ホスピタリティ・ツーリズム学科1年）

★今回の先生は2年ぶりに担当になったのに、息子のことをよく覚えていてくれ、個人個人の様子を詳しく把握してくださっているのでもって安心できました。（英米語学科3年）

★元気がなく最近休みがちになっていた。大学での様子を聞きました。状況もよく分かりましたし、進級の仕組みも詳しく聞けたので、それを基に娘にも話をしたいと思います。（英米語学科2年）

<東海地区>

★大学に入ったら先生と話す機会なんてないと思っていました。息子は帰ってきてあまり話さないで、先生から大学での様子を分かりやすく伺えると安心できます。（経済学科2年）

★懇談会に参加して、保護者の知り合いもでき楽しかったです。息子はグアム留学を経験させていただき、視野が広がったと話しており、人間的にも成長しました。明海大学に入学させて本当に良かったです。（ホスピタリティ・ツーリズム学科4年）

<沖縄地区>

★娘のキャンパスライフには不安もありましたが、いつも先生方が丁寧にお話ししてくれました。大学で自ら考え、判断して解決する力が付き、就職も自分で考え、決めることができました。大学には本当に感謝しています。（ホスピタリティ・ツーリズム学部4年）
★初めて聞くことがいっぱいでした。教職課程を取っているの、この先

は計画的に進めていかないと」とアドバイスをいただきました。これは本人だけでなく親もですね。今日は親として意識改革をさせていただきました。（外国語学部3年）



個別面談では、保護者の疑問や不安が解消するよう丁寧に対応（沖縄地区／那覇）

最新の就職情報、成績、学生生活など！

「心配が安心に変まりました」

2018年度地区教育懇談会

北海道から沖縄まで、今年度も全国10カ所（関東地区除く）で地区教育懇談会が無事に終了した。この会の特長は、直接先生と話ができること。教員の親身な対応、大学の万全な体制に、ほっとした表情で会場を後にする参加者を見ると、リピーターが多いのうなずける。

ちくこん 地区懇に参加しよう！ その1

上京、出張、帰省などの予定に合わせてもOK！

関東地区（浦安キャンパス）のほかどの会場でも参加できます

地区教育懇談会には、お住まいの近くの会場にしか参加できないと思っていませんか？
例えば、お子さんの一人暮らしの住まいを見がてら関東地区に参加したり、帰省や出張に合わせて近くの会場に行くこともできます。ご都合に合わせて、ぜひご参加ください。

★各地区の日程（案）は、4月上旬、教育後援会HPにアップ予定です（変更の場合あり）
※他地区に参加希望の方は教育後援会事務局までご連絡ください。

ちくこん 地区懇に行こう! その2

カジュアルな服装でOK!

ちくこん 地区懇ってどんな感じなの?!



①全体会

大学の近況、就職最新情報、就活の取り組み方などを丁寧に説明してくれる。

②個別面談

単位取得や出席状況、成績表の見方のほか、大学での様子も分かる。また、就職活動、留学についてなどの相談も。心配ごととは全て解決!



③懇親会

教職員、保護者が同じテーブルを囲み、ざっくばらんに話せる機会。先生方の人となり、安心感が増すはず。



全体会冒頭の戸澤会長の挨拶に続き、安井学長は「改革の歩みを止める

10/20 中国・四国地区 会場 TKPガーデンシティ岡山



(中国・四国地区/岡山)



(東北地区/郡山)

てほしい」と訴えた。続いて個別面談が行われ、控室では安井学長が保護者一人一人に声をかけ相談にのっていた。懇親会では、4年生の保護者から「転部をして心配したが、無事に就職も決まった。先生から、途中で道が変わってもいいのでは」と言われ納得できた。ありがたうございました。閉会となった。

その後の懇親会で、不動産学科の周藤利一先生は大学OBからの呼びかけで、山形県内の自治体は個別面談に。結果だった。全体会の後は個別面談に。保護者から「転部をして心配したが、無事に就職も決まった。先生から、途中で道が変わってもいいのでは」と言われ納得できた。ありがたうございました。閉会となった。

ことなく、教育の充実を図っていききたい」と挨拶。来年度設置予定の保健医療学部について、歯学部を有する「伝統の強み」を生かし、4年制の歯科衛生士を育てる学部の新設を決めたと話した。衆智規学生支援課主任からは、大学の近況報告が就職状況を中心に行われた。就職率は、今春もホスピタリティ・ツーリズム学部が100%を達成したのをはじめ、全体で約96%と昨年を上回る結果だった。全体会の後は個別面談に。

10/27 九州地区 (福岡市)

会場 西鉄イン福岡



料理、お酒を囲み、話が弾む(九州地区/福岡)

渡邊香教育後援会副会長の挨拶に続いて、佐々木康史副学長は「今年で浦安キャンパス開設30年。カリキュラムや施設のより一層の充実と、学修成果の可視化にも取り組んでいます」と挨拶。次いで大田原長茂学生支援課主幹の近況報告があり、個別面談へ。その後は懇親会。先生方の自己紹介では、共に福岡出身の、日本語学科の田鍋桂子先生からは、落ち込んだときに両親から「しょんなか」(博多弁で、悩んでも仕方ない)と電話で励まされたのを思い出すと話し、中国語学科の小川唯先生は、中国語学科の九州出身の学生2名について、「優秀な学生を送り込んでくれ

た九州に感謝したい」と述べた。下田直樹経済学部部長は、「親の顔が見てみたいと思うことがある。それは悪い意味ではなく、こんな素晴らしい学生を育てた親御さんに会ってみたいということなんです」と話し、会場は笑顔に包まれていた。

11/10 近畿・北陸地区 (大阪市) 会場 アークホテル大阪心斎橋

大阪、滋賀、京都、岐阜、兵庫などから9組13名が参加。挨拶に立った渡邊副会長は「面談後の懇親会にもぜひご参加ください」と呼びかけた。続いて安井学長は「教育は目に見えないが、その成果を、見える化する。ために、外部試験などを利用し、本人にできるようにしたと実感してもらおうと、保護者にも実感してもらいたい。難しい試験にも学生たちはチャレンジしている。保護者と大学が一体となり子どもを育てていきたい」と訴えた。

近況報告では佐久間健二学生支援課主幹が、現

4年生は順調に内定が出ていると報告。売り手市場が続いているが厳選採用には変わりない。大企業や業種にこだわらず、視野を広げて活動することが大切だと訴えた。

11/11 東海地区 (静岡市)

会場 ホテルアソシア静岡

山本正美教育後援会副会長は「親の不安は尽きないもの。心が軽くなるよう、時間の許す限りご相談ください」と挨拶。続いて大津由紀雄副学長の挨拶、鈴木課長から大学の近況報告、個別面談が行われた。

その後の懇親会で安井学長は、「社会に出ると、これまで経験してこ

なかつた問題に直面する。自ら考える力を学生に身につけさせたい」と挨拶。大津副学長は「大学は教育機関であると同時に研究機関。明海大学も研究に力を入れており、成果も上げていきたい」、経済学部長の下田先生は、「保護者の皆さんからは学生の良いところを教えてほしい。その良いところを大学で伸ばしていきたい」などの話があった。

戸澤会長の挨拶に続き、安井学長は、「沖縄は観光産業でも日本を支えており、お子さんは沖縄だけでな

11/18 沖縄地区 (那覇市)

会場 ホテルロイヤルオリオン

戸澤会長の挨拶に続き、安井学長は、「沖縄は観光産業でも日本を支えており、お子さんは沖縄だけでな



沖縄地区恒例の集合写真(沖縄地区/那覇)

く次の日本を背負って立つ人材になるはず」と挨拶。引き続き「大学院レベル」という中国語の同時通訳演習室や「MPPEC」など大学の施設を紹介。健康にも配慮し、全面禁煙であること、大学の中に歯科診療所があること、200円で朝食を提供していることなどが伝えられた。また、新学部(保健医療学部)や女子バレー部が創設されることにも触れ、「いろいろなどころに志向性のある子どもたちを伸ばしていきたい」と話した。鈴木課長は就職状況について報告。「1社でも内定が出たら褒めてあげて」と就活へのサポートを呼びかけた。

面談後の懇親会で、戸澤会長は「沖縄出身の学生さんの半数の保護者に参加していただけたのはすごいこと。今年は他の会場でも参加が増えており、地区懇談会を有効に使用していただけるようになったと思う」と話した。

はぜひ参加して、大学や就職活動の貴重な情報を得てください。(不動産学科4年)

★昨年この会に参加したときに、娘が以前から希望していた海外留学の話をじっくり聞くことができ、留学を実現できました。(日本語学科3年)

<中国・四国地区>

★明海大学は高校よりも身近に感じられる存在でした。それは地区懇談会で先生方と直接お話をできたからだと思います。地元で評判の歯医者さんは明海大出身なんですよ。卒業後も明海大を見守っていききたいと思います。(不動産学科4年)

★入学して明海大のカリキュラムがとても充実していると分かりました。偏差値だけでは分からない大学の良さは、親も一緒に探すべきですね。(ホスピタリティ・ツーリズム学科1年)

★高校ではあまり勉強しなかった息子が、大学で建築の面白さに気づき、勉強に励んでいます。今年の夏はケンブリッジ大での研修にも参加させていただきました。(不動産学科3年)

<九州地区>

★ディズニー好きな娘が浦安のことを

参加者の声

<北海道地区>

★設備や対話を大事にする授業などの話を聞いて、学びの場としてすごく工夫されていることが分かりました。子どもたちのことを考えてくれていると感じました。(不動産学科1年)

★面談で、いろいろな話が聞けて良かった。娘が大学で頑張っていることもわかった。こういう場があるのは本当にありがたい。(英米語学科2年)

★授業内容やTOEICのこと、進路のことなど聞きました。就職率や授業のことを聞き、「この学科ってすごいんだな」と改めて思いました。(ホスピタリティ・ツーリズム学科1年)

<北陸地区>

★毎年参加しています。去年は地元と関東とどちらの企業を受けるのがいいかなど、就職の相談をさせていただきました。おかげで無事内定をいただき、そのお礼も兼ねての参加です。親身に話を聞いてくださる先生方には本当に感謝しています。(ホスピタリティ・

ツーリズム学科4年)

★大学以外の活動で視野を広げてほしいと思うのですが、娘は課外活動に消極的。先生からは課外活動が盛んなゼミを選べば授業の一環として外に出る機会が増えるというアドバイスをいただきました。(経済学科2年)

★留学を希望しているようですが、費用面を心配してはっきりと言ってこなくて。費用のこと、支援制度や留学先の大学などについて詳しく話を聞くことができました。(中国語学科2年)

<信州地区>

★2年生以降、どのようなコースがあつてどう進路を決めていけばいいのかわ、進級要件のことなどを詳しく聞けました。(英米語学科1年)

★内定をいただいたのですが、本人は納得できていないようで、まだ就職活動を続けてもいいかどうか伺いました。パソコンなどに疎いもので、懇談会のお知らせを封書でいただけるのはうれしいです。(ホスピタリティ・ツーリズム学科4年)

<東北地区(盛岡)>

★内定がでしたが、取得できていない単位があり、それが心配で…。先生

から直接「大丈夫ですよ」と言ってもらい安心しました。懇談会で先生方とお話をすると娘と共通の話題ができるのもいいですね。(ホスピタリティ・ツーリズム学科4年)

★現2年生は就活状況が大きく変わるので、その話を聞きたくて参加。出欠状況の確認や成績など、インターネットを通じて確認できるのは助かります。細かいフォローは明海大学ならではのですね。(経済学科2年)

<東北地区(郡山)>

★会を地元で開催してもらって助かります。本人の希望と先生からのアドバイスで、この夏1カ月ほど沖縄にインターンシップに行き、とてもいい経験ができたようです。個別面談では、娘用の資料を用意して丁寧に説明してもらえ安心しました。(ホスピタリティ・ツーリズム学科2年)

★毎年出席していて、浦安での懇談会に行けなかったのが今日は千葉からやってきました。鈴木学生支援課長の就職についての話はとてもわかりやすく、非常に勉強になりました。先生方は親身にやってくれるのでありがたいです。参加したことのない保護者の方

明打座和太鼓

太鼓の音が響きわたる!



今年度立ち上げた和太鼓芸能サークルが、オープニングセレモニー後のメインステージで迫力の演奏を披露。

高橋: カッコいい!

福田: 若ければ私も叩いてみたい(笑)

戸澤: 日本の文化に若者がもっと触れてほしいですね

構内装飾のステンドグラス

戸澤: 毎年、力作で見るのが楽しみなんです

福田: 光が当たってきれいですね



茶道部

1階学生ホールでお点前を披露。

高橋: 和服姿がかわいらしい

福田: 男子学生の和服もいいですね



指導してくださる先生と...

小原流いけばなサークル

展示作品の中には留学生の作品も。「『花を生けている時間が好き』だと話す、韓国からの留学生もいました」とサークル指導の先生。



福田副会長が9月のサマーキャンプで同室だった学生と再会。

学生: あの時はありがとうございました。廊下にも作品があるので、ぜひ見てください

福田: これ、自分で生けたの?

学生: はい。廊下にも作品を飾っておもてなしを演出したくて...。ゆっくり見ていってください

飾り毛布

ホスピタリティ・ツーリズム学科の学生が「おもてなし」を形にした飾り毛布やタオルアートを教えてくれた。

タオルアートに挑戦!

福田: 思ったより簡単。パーティーとかにいいかも

高橋: サプライズに使えますね

師匠(学生)の丁寧な指導の下、



できました〜っ!

飾り毛布に挑戦!

戸澤: ベッドにこの飾り毛布を置いておいて、娘を驚かせちゃおうかな



出せば、出来栄! 出せば、出来栄!

1行目が「ふくだ」
2行目が「せいいち」

円形ステージで、ジャズの調べが...

ジャズオーケストラ部

福田: ジャズはよく聞くので楽しいです

戸澤: 学生さんの演奏も上手いですね



明海祭を見学してみで...

高橋: とても楽しかったです。学生が楽しんでいる様子も見られて良かったです。

福田: 明海祭は初めて。お客さんがたくさんいて驚きました。模擬店は仕入れや原価など生きた経済学習。もっと店が増えたらいいと思います。

戸澤: ホスピタリティ・ツーリズム学科の飾り毛布やワインプロジェクトなど、日頃の勉強を生かした出店が増えたのはうれしい。今後も明海大らしい学園祭にしてほしいです。

明海祭

キャンパスめぐり

2018年11月3日(土・祝)、4日(日)と浦安キャンパスで開催された明海祭。今年のテーマは『咲』。明海祭初日、教育後援会役員4人でめぐりました。



(写真左から)

福田 宏枝 役員
戸澤 五月 会長
高橋 直美 役員
福田 清一 副会長

めぐり人



オリエンテーリング



1階で受け付けを済ませ、3階、5階のSouth学生ホールで輪投げ、ボウリング、ダーツなどを楽しめる。小さな子どもでも安全に遊べるよう工夫が。

福田: 狙いすぎると入りません
福田: 小さい数字で確実に狙う人と、大きい数字でハイリターンを狙う人。性格が出ますね

ボウリング



輪投げ



高得点の奥に狙いを定め...

ストラ〜イク!

ワインプロジェクト



ホスピタリティ・ツーリズム学科の学生が主体となってブドウ栽培、ワイン生産を行っているワインプロジェクト。明海祭では飲酒禁止なので、国産ブドウ100%使用の贅沢なジュースを販売。

さてお味は...

学生: 当初の予定より倍の数のジュースを用意しました

戸澤: これ、本当においしいんですよ

高橋: わあ、ブドウのいい香り。今度はワインも飲みたいな(笑)

(写真撮影の直後、早くも完売)



留学生連合会

小腹を満たそうと模擬店をてくてく...



おいしいです!

編集後記

今回の潮風のトップを飾るのは、新春座談会でした。各学部の学部長を迎えて、今後の教育方針や就職などについて貴重な意見を聞くことができました。各学部とも、学生を第一に考え、就職指導、学部の今後力を入れる事を具体的に語っていただき、保護者としても大学への期待感がさらに強まり、安心いたしました。来年度より保健医療学部口腔保健学科が開校いたします。これからの明海大学を担うにふさわしい学科だと思いました。今年度の地区懇談会は、1月26日の関東地区をもつて無事終了することができました。各地域とも活気ある会になり、保護者様からも大変ありがたいお言葉をいただき、感動いたしました。その他にも、たくさんの記事を書いたことができて、内容が充実した潮風を作ることができました。潮風51号の制作にあたり、大学の先生方、職員の皆様をはじめ、編集に関係いただいた方々に感謝いたします。

(編集委員長 福田清二)

平成31年2月28日発行(年2回刊)
〈教育後援会だより〉

しおかぜ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
電話 047-355-5112 FAX047-355-2871
http://www.meikai-koenkai.com/